

おおてみち

第123号

令和5年(2023年)4月1日
滋賀県立安土城考古博物館

令和5年度春季特別展

信長と家康

裏切る者・裏切らざる者

令和5年 4月29日(土) - 6月4日(日)

◆開館時間 = 午前9時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで ◆休館日 = 月曜日 ※ただし5月1日(月)は開館
◆入館料 = 大人900円(690円) / 高大生640円(470円) / 小中生420円(310円) / 県内高齢者(65歳以上)460円(350円)
※()は20人以上の団体料金です。 ※状況によりマスク着用のご協力をお願いします。発熱・カゼ症状のある方は入館をお断りしております。

◆主催 = 滋賀県立安土城考古博物館
◆共催 = 京都新聞
◆特別協力 = 大阪城天守閣

荒木村重



浅井長政



明智光秀



松永久秀



近江風土記の丘



滋賀県立 安土城考古博物館
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

姉川合戦図屏風(福井県立歴史博物館蔵)



信長と家康

―裏切る者・裏切りらざる者―

会期 4月29日(土)～6月4日(日)
会場 企画展示室

権謀術数うずまく戦国乱世。その中で天下統一を推し進めた信長は、多くの人々を裏切つての上がったイメージが強いのではないだろうか。それは大いなる誤解です。実は信長は、信じた味方の武将や家臣に裏切られて苦境に立たされることの方が、はるかに多かつたのです。

若くして家督を継いだ頃、優秀な弟信勝を支持する柴田勝家らが、謀反を起こしています。大切な妹のお市を嫁がせて同盟を結んだはずの江北の浅井長政は、信長よりも越前(福井県)の朝倉氏を選んで反旗を翻し、三年もの戦いの末に滅んでしまいます。武田信玄も上杉謙信も毛利輝元も大坂本願寺も、最初から信長と敵対していたわけではありません。宣戦布告はすべて、相手側からだったのです。家臣の中からも、「裏切り」は多発しました。上洛前から信長と通じていた大和(奈良県)の松永久秀や、台頭して摂津(兵庫県ほか)を任されるまでになった荒木村重も、その信任を裏切つて敵に回つてしまいました。そして最後に信長の命と天下統一への道を絶つたのもまた、重用した明智光秀の裏切りだったのです。

そんな中で、どんな時も同盟者として信長の味方になつた希有な存在が、三河(愛知県)の徳川

家康でした。天下静謐のため、都の安寧に腐心する信長にとつて、東国への防壁となつてくれる家康の存在は、頼もしいものだったはずで、織田家との関係は信長の死後も続いていきます。

人々はなぜ信長を裏切るのか。信長と家康との関係は常に変わらなかつたのか。展覧会では、信長を取り巻く人間模様を、「裏切り」をキーワードに紐解き、考えていきます。

【主な展示資料】

◎重要文化財、△県指定文化財、□市指定文化財

◎信長記自筆本(岡山大学附属図書館蔵)

△浅井賢政書状―大原観音寺文書―

(米原市観音寺蔵)

姉川合戦図屏風(福井県立歴史博物館蔵)

浅井長政夫妻画像(当館蔵)

松永久秀画像(高槻市立しろあと歴史館蔵)

□筒井順慶画像(奈良市伝香寺蔵)

□寛文九年伊丹郷町絵図(市立伊丹ミュージアム蔵)

左京亮宗継入道隆佐記(京都市歴史資料館蔵)

長宗我部元親書状―石谷家文書―(林原美術館蔵)

松平家康書状―和田家文書―

(京都市歴史資料館蔵)

長篠合戦図屏風(大阪城天守閣蔵)

◎徳川家康禁制―長命寺文書―

(近江八幡市長命寺蔵)

※会期中展示替えを行います。詳細は、開幕日以降に博物館ホームページをご確認下さい。

記念講演会

①5月14日(日)「裏切られ信長

―そして裏切らない家康―

講師：金子拓氏(東京大学史料編纂所准教授)

②5月28日(日)「松平信康・築山殿事件の真相」

講師：柴裕之氏(東洋大学非常勤講師)

時間：13時30分～15時

会場：当館2階セミナールーム

参加費：各一〇〇〇円

定員：各一〇〇名

※①②それぞれ往復はがきによる事前申込制

(応募者多数の場合は抽選)

応募締切①4月21日(金)・②4月28日(金) 必着

城郭探訪

①5月3日(水・祝)安土城跡 定員二〇人

②5月7日(日)観音寺城跡と桑實寺 定員一〇人

③5月21日(日)安土城跡 定員二〇人

時間：13時～16時

参加費：各一五〇〇円(入館料・入山料を含む)

※①②③それぞれ往復はがきによる事前申込制

(先着順)

※講演会・探訪ともに、

事情により行事内容や

日時が変更になること

があります。最新の情

報や詳しい申込方法は

当館ホームページでご

確認下さい。

返信 □□□-□□□□	往信
お名前	① イベント名
	② ご住所
	③ お名前
	④ お電話番号
	あなたのご住所

収蔵資料紹介

山津照神社古墳出土 馬具

(滋賀県指定有形文化財 山津照神社所蔵 当館寄託)

山津照神社古墳は、米原市能登瀬に所在する全長約45mの前方後円墳で、埋葬施設は九州系の石室形をもつ横穴式石室ではないかと考えられています。

明治15年に神社参道拡幅工事の際に発見され、埋葬施設から広帯二山式の金銅製冠1点、銅鏡2面(仿製旋回式心
神獸鏡、五鈴付仿製乳脚文鏡)、鉄刀、鐵劍、水晶製三輪玉、馬具、須恵器、赤色顔料などの副葬品、墳丘などから内行花文鏡1面、朝顔形埴輪、円筒埴輪、石見型埴輪が見つかっており、古墳の築造は6世紀中頃と考えられています。

馬具は、鉄地金銅張の十字文楯円形鏡板付き轡1点、杏葉2点、鞍金具1点、鉄製の輪鏡



山津照神社古墳出土馬具(轡)



馬具(杏葉)

1点、木製の琵琶形壺鏡1組、鉄地金銅張の雲珠1点、辻金具2点などが確認され、これらの馬具は6世紀中頃の標準的な組み合わせで、国内で生産されたものと考えられています。

山津照神社古墳は、高島市鴨稻荷山古墳や野洲市甲山古墳・円山古墳などと並ぶ6世紀の近江を代表する首長墓で、古墳の被葬者は息長氏など継体大王を支えた人物と考えられています。いずれの古墳にも馬具が副葬されましたが、山津照神社古墳出土の馬具は比較的良好な状態なので、細部まで観察できます。

史跡案内

史跡 雪野山古墳

近江八幡市・東近江市・竜王町が境界を接する雪野山の山頂に雪野山古墳があります。古墳時代前期に築かれた全長約70メートルの前方後円墳で、一九八九年に八日市市教育委員会(現東近江市)と大阪大学が調査しました。縦穴式石槨の朱に染まった床に、副葬品が当時のまま据え置かれた写真は、新聞等で大きく報道され、たいへん注目を浴びました。

三角縁神獸鏡を含む5面の鏡などの副葬品を納めた場所が詳細に記録されたことはもちろん、表面に塗布した漆の被膜だけが残っていた鞍(ゆぎ)・矢を入れる容器)を取り出して原形が復元されたことも大きな成果でした。それまでに蓄積された知見と発掘技術がいかなく発揮された発掘調査でした。

出土品は重要文化財に指定されて東近江市埋蔵文化財センターが保管しており、当館でもその一部の複製品を展示しています。麓から約二〇〇メートルの標高差がある雪野山古墳に登るのは骨が折れますが、百聞は一見にしかず、ぜひトライしてみてください。



雪野山古墳石室(東近江市埋蔵文化財センター提供)

特別陳列〈望楼下ホール〉 6月6日(火)～7月20日(木)		春季特別展「信長と家康―裏切る者・裏切らざる者―」 4月29日(土)～6月4日(日)			
6月		5月		4月	
26日(月) 休館日	19日(月) 休館日	29日(月) 休館日	28日(日) 春季特別展記念講演会②「松平信康・築山殿事件の真相」 講師：柴裕之氏(東洋大学非常勤講師)〈要予約〉	3日(水・祝) 親子写生大会	3日(月) 休館日
18日(日) 連続講座Ⅰ「京極氏から多賀氏、そして浅井氏へ―近江北部の戦国史―」 ①「京極氏の権力」(仮) 講師：北村圭弘氏(滋賀県文化スポーツ部)〈要予約〉	12日(月) 休館日	22日(月) 休館日	21日(日) 城郭探訪③安土城跡〈要予約〉	3日(水・祝) 城郭探訪①安土城跡〈要予約〉	10日(月) 休館日
	5日(月) 休館日	15日(月) 休館日	14日(日) 春季特別展記念講演会①「裏切られ信長―そして裏切らない家康―」 講師：金子拓氏(東京大学史料編纂所准教授)〈要予約〉	7日(日) 城郭探訪②観音寺城跡と桑實寺〈要予約〉	17日(月) 休館日

博物館の主な催し



親子写生大会

第30回 親子写生大会を開催します。

ゴールデンウィーク中、当館では親子で絵に親しむイベントとして、第三〇回近江風土記の丘を描こう！親子写生大会(会期：令和五年五月三日(水・祝)～五月七日(日))を開催します。毎年、写生大会には、新緑に映える博物館や旧宮地家住宅(重要文化財)などを熱心にスケッチする子どもたちや、ピクニックを兼ねて家族みんなで絵を描く親子など、多くの人たちが参加されます。今年も参加費無料でどなたでもご参加できる上、「信長賞」・「秀吉賞」などの受賞者には、ささやかな副賞もお贈りします。また、ご応募いただいた全作品は後日、当館エントランスホールで展示させていただきます。

ぜひ、あなたも春の近江風土記の丘で絵画に親しんではいかがでしょうか。

※イベント詳細につきましては、当館ホームページでご確認ください。

※博物館関連講座の会場は当館セミナールームです。

※事情により行事内容や日時・講師が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

※講座はすべて事前申込制となっております。詳細は、電話でお問い合わせください。なお、当館ホームページおよび講座の広報チラシでもご確認できます。

※滋賀県立安土城考古博物館は公益財団法人滋賀県文化財保護協会が指定管理をしています。

おおてみち 第123号
令和5年(2023年) 4月1日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678 TEL0748-46-2424
E-mail : gakugetai@azuchi-museum.or.jp URL : https://www.azuchi-museum.or.jp